

↑ 高いほどよい

— データなし

↓ 低いほどよい

無印 高い、低い基準は事業者による

目標	分類	区分	番号	PI名	評価目安	PI計算値(H30)	PI計算値(H29)	単位		備考	
安全で良質な水	運営管理	水質管理	A101	平均残留塩素濃度	↓	0.30	0.30	(mg/L)	給水栓における残留塩素濃度の平均値		
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	↓	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を示す		
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	↓	2.0	4.2	(%)	給水栓における総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す		
			A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	↓	1.3	1.3	(%)	給水栓における有機物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す		
			A105	重金属濃度水質基準比率	↓	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表す		
			A106	無機物質濃度水質基準比率	↓	39.0	39.2	(値, 項目名) (%)	給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表す		
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率	↓	12.0	13.2	(値, 項目名)	給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す		
			A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	↓	0.0	0.0	(値, 項目名) (%)	給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す		
			A109	農業濃度水質管理目標比	↓	—	—	—	給水栓における各農業濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表す		
	施設管理	A201	原水水質監視度	↑	180	180	(項目)	水道事業者が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示す			
		A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	↑	29.4	29.4	(箇所/100 km <sup>2</sup> )	給水栓における毎日水質検査に関して、給水面積100km <sup>2</sup> 当たりの給水栓水質の監視箇所数を示す			
		A203	配水池清掃実施率	↑	68.5	82.9	(%)	5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示す			
		A204	直結給水率	↑	82.0	69.6	(%)	直結給水件数の割合を示す			
		A205	貯水槽水道指導率	↑	0	0	(%)	貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示す			
		A301	水源の水質事故件数	↓	0	0	(件)	1年間に水源の水質事故件数を示す			
	災害	A302	粉末活性炭処理比率	—	—	—	(%)	年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を表す			
		施設整備	A401	鉛製給水管率	↓	11.3	10.5	(%)	鉛製給水管使用件数の割合を示す		
	安定した水の供給	運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	↑	54.1	54.1	(%)	水道事業者が単独で管理し、水道事業者の意思で自由に取水できる水源量の割合を示す	
				B102	取水量1m <sup>3</sup> 当たり水源保全投資額	↑	0.28	0.00	(円/m <sup>3</sup> )	取水量1 m <sup>3</sup> 当たりに対する水質保全に対する投資費用を示す	
B103				地下水率	↑	100.0	100.0	(%)	水源利用水量に対する地下水揚水量の割合を示すもので、水源特性を表す		
B104				施設利用率	↑	44.7	44.8	(%)	施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す	※決算資料の経営分析表とは異なる式により算出	
B105				最大稼働率	↑	48.6	48.5	(%)	施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す	※決算資料の経営分析表とは異なる式により算出	
B106				負荷率	↑	92.0	92.3	(%)	一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す		
B107				配水管延長密度	↑	18.3	18.2	(km/km <sup>2</sup> )	給水面積当たりの配水管延長を示す		
B108				管路点検率	↑	2.4	2.3	(%)	1年間に点検した管路延長の割合を示す		
B109				バルブ点検率	↑	0.6	0.8	(%)	1年間に点検したバルブ数の割合を示す		
B110				漏水率	↓	2.0	2.4	(%)	配水量に対する漏水量の割合を示す		
B111				有効率	↑	97.8	97.4	(%)	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示す		
B112				有効率	↑	95.7	95.4	(%)	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示す		
B113				配水池貯留能力	↑	0.87	0.87	(日)	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示す		
B114				給水人口一人当たり配水量	↑	277	279	(L/日・人)	給水人口一人当たりの配水量を示す		
B115				給水制限日数	↓	0	0	(日)	一年間に給水制限を実施した日数を示す		
B116				給水普及率	↑	100.0	100.0	(%)	給水区域内人口に対する給水人口の割合を示す		
B117				設備点検実施率	↑	62.1	62.1	(%)	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示す		
災害対策		B201	浄水場事故割合	↓	—	—	(件/10年・箇所)	直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合として示す			
		B202	事故時断水人口率	↓	100.0	100.0	(%)	水道施設の事故時において給水できない人口の割合を示す			
		B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量	↑	127	128	(L/人)	災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す			
		B204	管路の事故割合	↓	3.3	3.6	(件/100 km)	一年間における導・送・配水管路の事故件数を延長100 km当たりの件数に換算したものの			
	B205	基幹管路の事故割合	↓	45.0	3.6	(件/100 km)	一年間における基幹管路の事故件数を延長100 km当たりの件数に換算したものの				
	B206	鉄製管路の事故割合	↓	2.2	3.6	(件/100 km)	一年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100 km当たりの件数に換算したものの				
	B207	非鉄製管路の事故割合	↓	8.9	3.8	(件/100 km)	一年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100 km当たりの件数に換算したものの				
	B208	給水管の事故割合	↓	2.0	1.8	(件/1,000 件)	給水件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示す				
	B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	↓	0.00	0.00	(時間)	給水人口に対する断水・濁水時間を示す				
	B210	災害対策訓練実施回数	↑	1	1	(回/年)	一年間に災害対策訓練を実施した回数を示す				
B211	消火栓設置密度	↑	3.2	3.2	(基/km)	配水管延長に対する消火栓の設置密度を示す					
環境対策	B301	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量	↓	0.49	0.50	(kWh/m <sup>3</sup> )	配水量1m <sup>3</sup> 当たりの電力消費量を示す				
	B302	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー	↓	4.71	4.83	(MJ/m <sup>3</sup> )	配水量1m <sup>3</sup> 当たりの消費エネルギー量を示す				
	B303	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量	↓	245	251	(g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	配水量1m <sup>3</sup> 当たりの総二酸化炭素排出量を示す				
	B304	再生可能エネルギー利用率	↑	0.370	0.367	(%)	全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギー利用の割合を示す				
	B305	浄水発生土の有効利用率	↑	—	—	(%)	浄水発生土量に対する有効利用土量の割合を示す				
	B306	建設副産物のリサイクル率	↑	97.7	88.6	(%)	水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、リサイクルされた割合を示す				
施設更新	施設管理	B401	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	↑	80.2	80.9	(%)	全管路延長に対するダクタイル鋳鉄管・鋼管の割合を示す			
		B402	管路の新設率	↑	0.04	0.00	(%)	管路延長に対する一年間に新設した管路延長の割合を示す			
	施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	↓	—	—	(%)	全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示す			
		B502	法定耐用年数超過設備率	↓	63.8	63.8	(%)	水道施設に設置されている機械・電気・計装設備の機器合計数に対する法定耐用年数を超過している機器数の割合を示す			
		B503	法定耐用年数超過管路率	↓	19.6	18.3	(%)	管路の延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合を示す			
		B504	管路の更新率	↑	1.02	1.53	(%)	管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示す			
		B505	管路の更生率	↑	0.000	0.000	(%)	管路の延長に対する更生を行った管路の割合を示す			
		B601	系統間の原水融通率	↑	—	—	(%)	全浄水施設能力に対する他系統からの融通可能な原水水量の割合を示す			
B602	浄水施設の耐震化率	↑	—	—	(%)	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示す					
B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	↑	—	—	(%)	浄水施設のうち主要構造物である、沈んで池及び過池に対する耐震対策が施されている割合を示す					

目標	分類	区分	番号	PI名	評価目安	PI計算値(H30)	PI計算値(H29)	単位		備考
施設整備	事故災害対策		B603	ポンプ所の耐震化率	↑	45.3	45.3	(%)	耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示す	
			B604	配水池の耐震化率	↑	100.0	100.0	(%)	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示す	
			B605	管路の耐震管率	↑	20.2	18.9	(%)	導・送・配水管(配水支管を含む)全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示す	
			B606	基幹管路の耐震管率	↑	14.1	18.9	(%)	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示す	
			B606-2	基幹管路の耐震適合率	↑	57.0	36.7	(%)	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示す	
			B607	重要給水施設配水管の耐震管率	↑	2.8	5.5	(%)	重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示す	
			B607-2	重要給水施設配水管の耐震適合率	↑	12.4	29.6	(%)	重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示す	
			B608	停電時配水量確保率	↑	87.1	86.9	(%)	一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示す	
			B609	薬品備蓄日数	↑	39.9	41.4	(日)	水道施設で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示す	
			B610	燃料備蓄日数	↑	3.0	3.0	(日)	停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を継続できる日数を示す	
			B611	応急給水施設密度	↑	117.6	117.6	(箇所/100km <sup>2</sup> )	100km <sup>2</sup> 当たりの応急給水施設数を示す	
			B612	給水車保有率	↑	0.015	0.015	(台/1,000人)	給水人口1,000人当たりの給水車保有台数を示す	
			B613	車載用の給水タンク保有率	↑	0.067	0.068	(m <sup>3</sup> /1,000人)	給水人口1,000人当たりの車載用給水タンク容量を示す	
健全な事業経営	健全経営		C101	営業収支比率	↑	93.3	95.2	(%)	営業収益の営業費用に対する割合を示す	
			C102	経常収支比率	↑	111.7	112.1	(%)	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す	
			C103	総収支比率	↑	111.1	111.6	(%)	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す	
			C104	累積欠損金比率	↓	0.0	0.0	(%)	受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示す	
			C105	繰入金比率(収益的収入分)	↓	0.6	0.6	(%)	収益的収入に対する損益勘定繰入金金の依存度を示す	
			C106	繰入金比率(資本的収入分)	↓	1.3	0.4	(%)	資本的収入に対する資本勘定繰入金金の依存度を示す	
			C107	職員一人当たり給水収益	↑	93,158	81,353	(千円/人)	損益勘定職員一人当たりの給水収益を示す	
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合	↓	8.5	9.4	(%)	給水収益に対する職員給与費の割合を示す	
			C109	給水収益に対する企業借利息の割合	↓	1.8	2.2	(%)	給水収益に対する企業借利息の割合を示す	
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合	↓	35.6	37.8	(%)	給水収益に対する減価償却費の割合を示す	
			C111	給水収益に対する建設改良のための企業借償還元金の割合	↓	5.6	5.4	(%)	給水収益に対する建設改良のための企業借償還元金の割合を示す	
			C112	給水収益に対する企業借残高の割合	↓	104.3	119.6	(%)	給水収益に対する企業借残高の割合を示す	
			C113	料金回収率	↑	103.6	99.2	(%)	給水原価に対する供給単価の割合を示す	
			C114	供給単価	↑	139.6	128.5	(円/m <sup>3</sup> )	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの給水収益の割合を示す	
			C115	給水原価	↓	134.7	129.6	(円/m <sup>3</sup> )	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの経常費用(受託工事費等を除く)の割合を示す	
			C116	1か月10m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金	↓	1,051	1,051	(円)	1か月に10m <sup>3</sup> 使用した場合における水道料金を示す	
			C117	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金	↓	2,207	2,207	(円)	1か月に20m <sup>3</sup> 使用した場合における水道料金を示す	
			C118	流動比率	↑	380.7	582.7	(%)	流動負債に対する流動資産の割合を示す	
			C119	自己資本構成比率	↑	85.5	85.7	(%)	総資本に対する自己資本の割合を示す	
			C120	固定比率	↓	103.2	102.6	(%)	自己資本に対する固定資産の割合を示す	
			C121	企業借償還元金対減価償却費比率	↓	23.1	21.4	(%)	当年度減価償却費に対する企業借償還元金の割合を示す	
			C122	固定資産回転率	↑	0.10	0.10	(回)	固定資産に対する営業収益の割合を示す	
			C123	固定資産使用効率	↑	8.3	8.5	(m <sup>3</sup> /万円)	有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示す	
			C124	職員一人当たり有収水量	↑	667,000	633,000	(m <sup>3</sup> /人)	一年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示す	
			C125	料金請求誤り割合	↓	0.03	0.04	(件/1,000件)	料金請求総件数に対する誤請求の件数の割合を示す	
C126	料金回収率	↑	90.0	99.7	(%)	一年間の水道料金総額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示す				
C127	給水停止割合	↓	25.2	16.7	(件/1,000件)	給水件数に対する給水停止件数の割合を示す				
組織・人材	人材育成		C201	水道技術に関する資格取得率	↑	1.58	1.32	(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示す	
			C202	外部研修時間	↑	1.2	8.2	(時間/人)	職員一人当たりの外部研修の受講時間を表す	
			C203	内部研修時間	↑	2.6	7.1	(時間/人)	職員一人当たりの内部研修の受講時間を表す	
			C204	技術職員率	↑	41.7	40.0	(%)	全職員数に対する技術職員の割合を示す	
			C205	水道業務平均経験年数	↑	6.0	5.5	(年/人)	全職員の水道業務平均経験年数を表す	
			C206	国際協力派遣者数	↑	0	0	(人・日)	国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す	
			C207	国際協力受入者数	↑	0	0	(人・日)	受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積	
	業務委託		C301	検針委託率	↑	100.0	100.0	(%)	水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示す	
			C302	浄水場第三者委託率	↑	-	-	(%)	全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示す	
			C401	広報誌による情報の提供度	↑	1.6	5.2	(部/件)	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示す	
お客さまとのコミュニケーション	意見収集		C402	インターネットによる情報の提供度	↑	14	44	(回)	インターネットによる水道事業の情報発信の回数を表す	
			C403	水道施設見学者割合	↑	4.8	4.7	(人/1,000人)	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示す	
			C501	モニタ割合	↑	0.000	0.000	(人/1,000人)	給水人口に占めるモニタ人数の割合を示す	
			C502	アンケート情報収集割合	↑	6.95	5.68	(人/1,000人)	給水人口に対する一年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合	
			C503	直接飲用率	↑	73.8	88.0	(%)	水道水を飲用しているお客様の割合を示す	
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合	↓	0.07	0.03	(件/1,000件)	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示す	
			C505	水質に対する苦情対応割合	↓	0.00	0.30	(件/1,000件)	給水件数に対する水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示す	
C506	水道料金に対する苦情対応割合	↓	0.00	0.03	(件/1,000件)	給水件数に対する水道料金に関する苦情対応件数の割合を示す				
水道事業体のプロフィール			C11	給水人口規模		131,142	130,358	(人)	給水人口規模	
			C12	全職員数		24	25	(人)	全職員数	
システムのプロフィール			C13	水源種別		「浅井戸水」「深井戸水」「浄水受水」	「浅井戸水」「深井戸水」「浄水受水」	-	水源の種別	
			C14	浄水受水率	↓	13.8	13.6	(%)	年間配水量における浄水受水量の割合	
			C15	給水人口1万人当たりの浄水場数	↑	0.00	0.00	(箇所/10,000)	給水人口1万人当たりの浄水場の数	
			C16	給水人口1万人当たりの施設数	↑	0.46	0.46	(箇所/10,000)	給水人口1万人当たりの水道施設の数	
地域条件のプロフィール			C17	有収水量密度	↑	7.45	7.44	(1,000m <sup>3</sup> /ha)	計画給水区域面積1ha当たりの有収水量	
			C18	水道メーター密度	↑	218.2	215.9	(個/km)	配水管1km当たりの水道メーター数	
			C19	単位管延長	↑	2.56	2.56	(m/人)	給水人口1人当たりの導送配水管延長	